

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	尿素
製品コード	1110002139002
整理番号	kisoka5913-3
供給者の会社名称	日産化学株式会社
住所	東京都中央区日本橋 2-5-1 日本橋高島屋三井ビルディング
担当部門	化学品事業部 基礎化学品営業部
電話番号	03-4463-8140
FAX番号	03-4463-8138
緊急連絡電話番号	03-4463-8140

2. 危険有害性の要約

G H S 分類	分類基準に該当しない
----------	------------

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別	化学物質
-------------	------

化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲	化学式	官報公示整理番号		CAS番号
			化審法番号	安衛法番号	
尿素	100%	H ₂ NCONH ₂	(2)-1732	既存	57-13-6

分類に寄与する不純物及び安定化添加物 情報なし

4. 応急措置

吸入した場合	空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 気分が悪い時は、医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合	皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。 皮膚を速やかに洗浄すること。外観に変化が見られた場合は、必要に応じて医師の診断をうけること。 気分が悪い時は、医師に連絡すること。
眼に入った場合	水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 眼の刺激が持続する場合、医師の診断、手当てを受けること。
飲み込んだ場合	口をすすぐこと。 気分が悪い時は、医師に連絡すること。

5. 火災時の措置

本製品は不燃物である。	
周辺火災の場合は、容器を安全な場所に移動する。	
移動困難な場合は注水して容器を冷却し、分解を制止し可燃物の燃焼を抑え延焼防止に努める。	
消火剤	散水、水噴霧、泡消火剤、粉末消火剤、二酸化炭素
使ってはならない消火剤	情報なし
特有の危険有害性	燃焼ガスには一酸化炭素や窒素酸化物などの有害ガスが含まれているので、消火作業時に煙を吸引しないように注意する。
特有の消火方法	加熱分解したガスは有害なアンモニアガスを含有するので、消火作業は風上から行う。
消火を行う者の保護	消火作業の際は、保護衣を着用し、眼、鼻、口を覆う保護具（ホースマスク等）を着用するのが望ましい。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	作業に際しては適切な防護具を着用し、飛散しない方法で回収する。
-----------------------	---------------------------------

環境に対する注意事項	河川等に排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	危険でなければ漏れを止める。
二次災害の防止策	大量の漏洩物の除去や廃棄処理の場合は専門家の指示による。
	可燃物（木、紙、油等）は漏洩物から隔離する。 排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策	局所排気装置の設置、設備の密閉化、又は全体換気を適正に行うことが望ましい。
安全取扱注意事項	取扱い後はよく手を洗うこと。 皮膚との接触を避けること。
衛生対策	情報なし
保管	吸湿性があるので、長期保管または加圧により固結する。
安全な保管条件	部分的に分解発生したアンモニアガスが蓄積しないように、風通しを良くしておく。 容器を密閉して換気の良い場所で保管すること。 直射日光を避け、低温で換気のよい場所で保管する。
安全な容器包装材料	情報なし

8. ばく露防止及び保護措置

	管理濃度	許容濃度(産衛学会)	許容濃度(ACGIH)
尿素	未設定	未設定	
設備対策	管理濃度・許容濃度以下に保つために換気装置を設置する。		
保護具			
呼吸器の保護具	防塵マスク		
手の保護具	保護手袋を着用すること。		
眼の保護具	眼の保護具を着用すること。		
皮膚及び身体の保護具	適切な保護衣を着用すること。		

9. 物理的及び化学的性質

外観	
物理的状態	固体
形状	結晶状粉末
色	白色
臭い	アンモニア類似臭
臭いのしきい（閾）値	データなし
pH	情報なし
沸点、初留点及び沸騰範囲	132°C (化学大辞典, 2006)
引火点	データなし
燃焼又は爆発範囲	
下限	データなし
上限	データなし
比重（密度）	1.355 (かさ比重0.74) / 1.32 (CRC Handbook of Chemistry and Physics, 2005)
溶解度	水に可溶。（溶解熱-60J/kg） エーテル、クロロホルムに不溶。
n-オクタノール／水分配係数	$\log \text{Pow} = -3.00 \sim -1.54$ / $\log \text{Pow} = -1.59$ (SIAP; JETOC)
自然発火温度	情報なし
分解温度	135°C付近
動粘性率	データなし
その他	吸湿性を示す
尿素として	
融点・凝固点	132°C
溶解度	メタノールに可溶、エタノールに可溶、エーテルに不溶、クロロホルム

に不溶, ベンゼンに不溶

10. 安定性及び反応性

反応性	通常の取り扱い条件において安定である。
化学的安定性	加水分解するとアンモニアガスを発生する。 加熱すると160°C付近でアンモニアを発生し、シアノ酸アンモニウムに変化する。
危険有害反応可能性	次亜塩素酸ソーダと反応して、爆発性のある三塩化窒素を生成する。 尿素と亜硝酸ソーダを溶融しシアノ酸塩を生成する工程で爆発発生の事例がある。
避けるべき条件	高温、吸湿
混触危険物質	強酸化剤、亜硝酸塩、亜塩素酸塩、過塩素酸塩、次亜塩素酸塩
危険有害な分解生成物	加水分解: アンモニアガスを発生する。 加熱: 160°C付近でアンモニアを発生し、シアノ酸アンモニウムに変化する。 燃焼: 一酸化炭素、二酸化炭素を発生する。
その他	やや吸湿性がある。

11. 有害性情報

急性毒性

経口	(ラット) LD50: 8471 mg/kg (chemwatch, 2017)
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	Skin (human): 22 mg/3d (I)- 低刺激 (chemwatch, 2017)
皮膚感作性	データなし

12. 環境影響情報

水生環境有害性（急性）

魚類 (コイ) LC50(96時間) : 9,100mg/L
甲殻類 (ミジンコ) EC50(24時間) : 1,000mg/L
(ともにECHA site, Registered substances, 2014)
菌類 (Scenedesmus quadricauda) 毒性閾値(7日) : >10,000mg/L (ECHA site, Registered substances, 2014)
情報なし
データなし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。
都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方自治体がその処理を行なっている場合はそこに委託して処理する。
関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。

汚染容器及び包装

14. 輸送上の注意

国際規制

海上規制情報	特になし
UN No.	該当しない
Marine Pollutant	Not applicable
Transport in bulk according to MARPOL 73/78, Annex II, and the IBC code	Not applicable
航空規制情報	特になし
UN No.	該当しない

国内規制

陸上規制	特になし
海上規制情報	特になし
国連番号	該当しない
MARPOL 73/78 附属書II 及	非該当

びIBC コードによるばら積 み輸送される液体物質	
航空規制情報	特になし
国連番号	該当しない
特別の安全対策	運搬に際しては、容器の漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行うこと。

15. 適用法令

海洋汚染防止法	有害液体物質（Z類物質）（施行令別表第1）
外国為替及び外国貿易法	輸出貿易管理令別表第1の16の項

16. その他の情報

参考文献	化学大辞典 The Merk Index GHS分類結果データベース（製品評価技術基盤機構） 16918の化学商品、化学工業日報（2018） 14096の化学商品、化学工業日報社
その他	<p>この情報は新しい知見による改訂されることがありますのでご了承ください。</p> <p>ここに記載された情報は、当社で調査できる範囲の情報であり、情報の正確さは保証するものではありません。</p> <p>化学品には予見できない有害性がありうるため取り扱いには細心の注意を払ってください。</p> <p>本品の適正な使用については、使用者において行ってください。</p> <p>この情報は新しい知見により改訂されることがありますのでご了承ください。ここに記載された情報は、当社で調査できる範囲の情報であり、情報の正確さは保証するものではありません。化学品には予見できない有害性がありうるため取扱いには細心の注意を払ってください。本品の適正な使用については、使用者において行ってください。</p>